



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

九州冷蔵倉庫協議会

会長 高松浩司様

内航海運研究会
会長 森隆行

公益財団法人九州運輸振興センター
会長 竹島和幸

「内航海運フォーラム in 博多」開催のご案内

内航海運研究会と（公財）九州運輸振興センターとの共催により、福岡市において「内航海運フォーラム in 博多」を開催いたします。

内航海運は国内物流の約4割、産業基礎物資輸送の約8割を担うわが国経済活動と国民生活を支える極めて重要な産業ですが、近年、船舶と船員の2つの高齢化を始めとして様々な課題を抱えています。

国土交通省においては、このような様々な課題や近年の内航を取り巻く環境の変化等を踏まえ、本年4月、内航海運の活性化に向けた今後の方向性検討会を設置されました。7月にはその中間とりまとめが行われ、来年6月には最終のとりまとめが行われる予定となっております。

また、平成10年から始まった「内航海運暫定措置事業」は、解撤交付金等の交付対象船舶が昨年度末でゼロになっており、同事業は本年度から新しい段階に入りました。

今般、このような状況の下、内航海運の健全な発展等のための調査研究や内航海運に対する国民の理解増進等を積極的に行っている「内航海運研究会」（会長：森隆行流通科学大学教授）による講演や内航関係者を交えたパネルディスカッションを行うこととなりました。当フォーラムは内航海運事業者を始め内航海運に関係する方々に今後の事業運営等に活かして頂くことを目的に開催致しました。

内航関係者はもとより造船・船用工業等の海事関係者の皆様には大変有意義なものと思っておりますので、是非とも多くの関係者の皆様にご参加頂きたく存じます。

なお、会場の都合等がございますので、参加の申込みは11月22日（火）までに別添の参加申込み票によりお申込み下さい。（参加無料）

記

- 開催日時 2016年11月25日（金）13:00～16:00
- 開催場所 ハイアット・リージェンシー・福岡 2階 リージェンシー I
福岡市博多区博多駅東2-14-1 TEL 092-412-1234（代）
- 講演1 講師 石田 信博 氏（同志社大学 教授）
テーマ 「船腹調整事業、暫定措置事業の歴史と背景」
- 講演2 講師 永岩健一郎 氏（広島商船高専 教授）
テーマ 「これまでに提示されたビジョンについて」
①内航海運ビジョン／2001年 国民経済研究協会
②次世代内航海運ビジョン／2002年 次世代内航海運懇談会
- 講演3 講師 松尾 俊彦 氏（大阪商業大学 教授）
テーマ 「内航海運ビジョン公表後の取り組みと課題」
- パネルディスカッション
テーマ 「暫定措置事業終了後の内航海運のあるべき姿」
パネリスト ①西村 幸恩 氏（宇部興産海運株式会社取締役海運本部長）
②宗田 銀也 氏（九州地方海運組合連合会副会長）
③松尾 俊彦 氏（大阪商業大学 教授）
④石黒 一彦 氏（神戸大学 准教授）
コーディネーター 森 隆行 氏（流通科学大学 教授）
- 参加者 100名（参加無料）

F A X 番号 092-451-0474

(公益財団法人 九州運輸振興センター宛)

内航海運フォーラム in 博多 参加申込み票

- 開催日時 2016年11月25日(金) 13:00~16:00
- 開催場所 ハイアット・リージェンシー・福岡 2階 リージェンシー I
福岡市博多区博多駅東2-14-1 TEL 092-412-1234(代)
- 講演1 講師 石田 信博 氏(同志社大学 教授)
テーマ 「船腹調整事業、暫定措置事業の歴史と背景」
- 講演2 講師 永岩健一郎 氏(広島商船高専 教授)
テーマ 「これまでに提示されたビジョンについて」
①内航海運ビジョン/2001年 国民経済研究協会
②次世代内航海運ビジョン/2002年 次世代内航海運懇談会
- 講演3 講師 松尾 俊彦 氏(大阪商業大学 教授)
テーマ 「内航海運ビジョン公表後の取り組みと課題」
- パネルディスカッション
テーマ 「暫定措置事業終了後の内航海運のあるべき姿」
パネリスト①西村 幸恩 氏(宇部興産海運株式会社取締役海運本部長)
②宗田 銀也 氏(九州地方海運組合連合会副会長)
③松尾 俊彦 氏(大阪商業大学 教授)
④石黒 一彦 氏(神戸大学 准教授)
コーディネーター 森 隆行 氏(流通科学大学 教授)

貴社名	
部署名	
住所	〒 TEL
役職名	お名前

※個人情報の取扱いについて

1. ご提供いただきました個人情報は、本機関が主催・後援する各種催しの申込みに関する事務手続きや運営のためにのみ使用します。
2. 個人情報は、第三者に開示、提供、預託することはありません。